

## 31 He cut his finger with a knife.

文の分析 He cut **his finger** ( with a knife ).

**check** 不規則変化動詞 cut

動詞を過去形や過去分詞にするときに、ed(d)をつけるのではなく、その形を変化させる動詞を不規則変化動詞と呼ぶ。よく使われる動詞が不規則変化動詞であることも多いので、しっかりと覚えておきたい。cut は cut の過去形。主語が He なので、現在形であれば cuts になるが、cut なので過去形だと判断できる。

**意味分析**

He cut 「彼は切った」

何を? his finger → 「彼の指を」

何で? with a knife → 「ナイフで」

He cut his finger with a knife.

「彼はナイフで指を切った」

## 32 I have a meeting about the environment at noon.

文の分析 I have **a meeting ( about the environment )** ( at noon ).

**check** 前置詞のグループが名詞を飾る

前置詞のグループが直前の名詞を飾ることがある。books on the desk は on the desk が前の books を飾り、「机の上にある本」、a bird in the cage は in the cage が前の a bird を飾り、「カゴの中の鳥」となる。ここでは、about the environment が前の a meeting を飾り、「環境についての会議」となる。

**意味分析**

I have 「私は持っている」

何を? a meeting about the environment → 「環境についての会議を」

いつ? at noon → 「正午に」

I have a meeting about the environment at noon.

「私は正午に、環境についての会議がある」



### 35 He is wearing a T-shirt, pants and shoes.

文の分析 He is wearing a T-shirt, pants and shoes.

check 進行形 is wearing

be + 現在分詞 (doing) で「～している」という進行形を表す。ここでは、is wearing で「着ている」という意味になる。

check 接続詞 and

and が3つ以上のものをつなげる場合は、A, B and C のように最後の2つは and でつなげて、それ以外はカンマでつなげる。例文であれば、彼が身につけているものが3つあるので、最後の pants と shoes の間に and をつけている。

意味分析

He is wearing 「彼は着ている」

何を? a T-shirt, pants and shoes → 「Tシャツとズボン、靴を」

He is wearing a dirty T-shirt, pants and shoes.

「彼はTシャツとズボン、靴をはいている」

### 36 Actually, I am angry with you, too.

文の分析 Actually, I am angry with you, too.

check 「～も」の too

「～もまた」「その上」というときに、too を使う。("Nice to meet you." "Nice to meet you, too." ) ここでは、誰かが you に対して怒りを感じていて、「私も怒っているんだよ!」という意味で too を使っている。

意味分析

Actually 「実際」

I am angry with ～, too 「私も～に怒っている」

誰に? you → 「あなたに」

Actually, I am angry with you, too.

「実際、私もあなたに怒っているんだよ」

### 37 Please wrap this cup in soft paper.

文の分析 Please wrap this cup ( in soft paper ).

check 命令形 Please wrap

動詞が文頭にきて、「～しなさい」という命令を表す。これは、主語の You が省略されていると考えられる。この例文のように、Please を前につけて丁寧な表現にすることもあがるが、それも命令文である。

意味分析

Please wrap 「包んでください」

何を？ this cup → 「このカップを」

何の中に？ in soft paper → 「やわらかい紙の中に」

Please wrap this cup in soft paper.

「やわらかい紙で、このカップを包んでください」

### 38 Don't forget your cap and uniform for tonight's softball match.

文の分析 Don't forget your cap and uniform ( for tonight's softball match ) .

check 命令形の否定

命令形の否定は、「Don't + 動詞の原形」で表し、「～するな！」という意味となる。また、Be から始まる命令形でも、Don't から始める。Don't be late. 「遅れるな」

意味分析

Don't forget 「忘れないでね」

何を？ your cap and uniform → 「(あなたの) 帽子とユニフォームを」

何のために？ for tonight's softball match → 「今晚のソフトボールの試合のために」

Don't forget your cap and uniform for tonight's softball match.

「今晚のソフトボールの試合のために、帽子とユニフォームを忘れないでね」

### 39 Let's look up new words in the dictionary!

文の分析 Let's look up new words ( in the dictionary )!

check Let's

「～しよう」という勧誘を表すが、これも命令文と考えられる。詳しくは高校生で勉強します。

意味分析

Let's look up 「調べよう」

何を? new words → 「新しい語を」

何で? in the dictionary → 「辞書で」

Let's look up new words in the dictionary!

「辞書で新出語を調べよう！」

### 40 The 3Rs of reduce, reuse and recycle are popular in Germany.

文の分析 The 3Rs of reduce, reuse and recycle are popular ( in Germany ).  
A of B

check 前置詞 of

ofは、A of Bの形で使われることが多い。これは、「BのA」という意味となり、意味的に1つのグループになる。例文では、reduce, reuse and recycleのthe 3Rs → 「減らす、再使用する、再利用するの3R」となり、the 3Rs of reduce, reuse and recycleがまとまった意味となっていることに注意したい。

意味分析

The 3Rs of reduce, reuse and recycle = popular

どこで? in Germany → 「ドイツで」

The 3Rs of reduce, reuse and recycle are popular in Germany.

「減らす、再使用する、再利用するの3Rは、ドイツでは一般的である」

## 41 He laughed at funny stories from all over the world.

文の分析 He laughed at funny stories ( from all over the world ).

check 名詞のまとめ

名詞を飾る語が1語の時には、前→後ろで飾る。ここでは、funny が stories を飾り名詞のグループを作り、「おもしろい話し」という意味になっている。

意味分析

He laughed at ～ 「彼は～を笑った」

何を? funny stories → 「おもしろい話しを」

どこからの? from all over the world → 「世界中からの」

He laughed at funny stories from all over the world.

「彼は、世界中から集まったおもしろい話しに笑った」

## 42 That British guitar band produces a new album every year.

文の分析 That British guitar band produces a new album ( every year ).

check 名詞のまとめ

名詞を飾る語が2語以上の時には、後ろ→で飾る。ここでは、band を、that と British、guitar がそれぞれ飾っている。だから、2語以上ではあるが、1語ずつ飾っているのだから、前→後ろを飾り、「あのイギリスのギターバンド」という意味になっている。

意味分析

That British guitar band produces 「あのイギリスのギターバンドは制作する」

何を? a new album → 「新しいアルバムを」

いつ? every year → 「毎年」

That British guitar band produces a new album every year.

「あのイギリスのギターバンドは、毎年ニューアルバムを制作する」

### 43 My grandma is famous for her warm heart.

文の分析 My grandma is famous for her warm heart.

check be famous for

be famous for ～は「～で有名である」という意味である。famous は「よい意味で有名」のことで、悪い意味で有名なときには使えない。また、国民的に知られているという意味で使われるので、この例文は多少、違和感が否めない。

意味分析

My grandma is famous for ～ 「私のおばあちゃんは～で有名である」  
～とは？ her warm heart → 「暖かい気持ち」

My grandma is famous for her warm heart.

「わたしのおばあちゃんは暖かい気持ちで有名である」

### 44 He arrived at the library at nine o'clock in the morning.

文の分析 He arrived at the library ( at nine o'clock ) ( in the morning ).

check o'clock の使い方

9時や10時という、いわゆる「00分」を表すときに、o'clock を使う。10時なら、ten o'clock、11時なら eleven o'clock となる。これは、9:30 や 10:30 などの時には使えず、ここが日本語の「ぴったり」と違う。

意味分析

He arrived at ～ 「彼は～に到着した」

～とは？ the library → 「図書館に」

いつ？ at nine o'clock → 「9時に」

午前午後？ in the morning → 「朝の（午前）」

He arrived at the library at ten o'clock in the morning.

「彼は、朝の10時に図書館に着いた」

## 45 He is riding his bike at full speed.

文の分析 He is riding his bike ( at full speed ).

check 進行形 is riding

be + 現在分詞 (doing) で「～している」という進行形を表す。ここでは、is riding なので、「乗っている」という意味になる。

意味分析

He is riding 「彼は乗っている」

何に？ his bike → 「自転車に」

どのように？ at full speed → 「最高速度で」

He is riding his bike at full speed.

「彼は最高速度で自転車に乗っている」

## 46 I reported the situation to my teacher on the phone.

文の分析 I reported the situation ( to my teacher ) ( on the phone ).

check 定冠詞 the

相手と自分とが、共通して理解しているものを表すときに the を使う。ここでは、situation について、I とその相手とが同じ situation を想像している。

意味分析

I reported 「私は報告した」

何を？ the situation → 「その状況を」

誰に？ to my teacher → 「私の先生に」

何で？ on the phone → 「電話で」

I reported the situation to my teacher on the phone.

「私は状況を、電話で先生に報告した」

## 47 You can connect this radio to the speaker easily.

文の分析 You can connect this radio ( to the speaker ) easily.

check 助動詞 can

動詞の意味を拓げるときに助動詞を使う。can は「～できる」という意味で、ここでは can connect で「つなげることができる」という意味になる。その後ろは原形であり、主語が he や she でも、3単現の s はつかない。なお、否定は can't や cannot で、cannot のスペルや発音に注意したい。

意味分析

You can connect 「あなたはつなげられる」

何を？ this radio → 「このラジオを」

何に？ to the speaker → 「そのスピーカーに」

どのように？ easily → 「簡単に」

You can connect this radio to the speaker easily.

「このラジオを、そのスピーカーに簡単につなげられます」

## 48 Where can I buy plastic garbage bags?

文の分析 Where can I buy plastic garbage bags ?

check 疑問詞 where

場所を相手に尋ねるときは、where を使う。そのあとは疑問文の語順になるので、ここでは助動詞の can が前に出て、can I buy (買うことができるか) が続いている。where は who や which, what などと違い、主語になれないことにも注意したい。

意味分析

Where can I buy 「どこで買うことができるか」

何を？ plastic garbage bags → 「ビニールのごみ袋を」

Where can I buy plastic garbage bags?

「どこでビニールのごみ袋を買うことができますか」

## 49 Thanks to you, we enjoyed a safe holiday.

文の分析 ( Thanks to you, ) we enjoyed a safe holiday .

**check** 名詞のまとめ

名詞を飾る語が1語の時には、前→後ろで飾る。ここでは、safe が holiday を飾り名詞のグループを作り、「安全な休日」という意味になっている。

**意味分析**

Thanks to you, 「あなたのおかげで」

we enjoyed 「私たちは楽しんだ」

何を? a safe holiday → 「安全な休日を」

Thanks to you, we enjoyed a safe holiday.

「あなたのおかげで、私たちは安全な休日を楽しみました。」

## 50 The king is holding a gold plate in his hand.

文の分析 The king is holding a gold plate ( in his hands ).

**check** 進行形 is holding

be + 現在分詞 (doing) で「～している」という進行形を表す。ここでは、is holding で「握っている」という意味になる。

**意味分析**

The king is holding 「その王は持っている」

何を? a gold plate → 「金色の皿を」

どこに? in his hands → 手の中に

The king is holding a gold cross in his hands.

「王は、金色の皿を手を持っています」

## 51 The number of members in our ski team is increasing every year.

文の分析 The number of members (in our ski team) is increasing ( every year ).

A

B

check 進行形 is increasing

be + 現在分詞 (doing) で「～している」という進行形を表す。ここでは、is increasing で「増加している」という意味になる。

意味分析

The number of members in our ski team 「私たちのスキー部のメンバーの部員数は」  
それが？ is increasing → 「増えている」

いつ？ every year → 「毎年」

The number of members in our ski team is increasing every year.

「私たちのスキー部の部員数は、毎年増加している」

## 52 A science fiction writer owns this bookstore.

文の分析 A science fiction writer owns this bookstore .

check 名詞のまとまり

名詞を飾る語が1語の時には、前→後ろで飾る。ここでは、science fiction が1語として考えられているので、前から writer を飾り名詞のグループを作り、「ある SF 作家」という意味になっている。

意味分析

A science fiction writer owns 「ある S F 作家が所有している」

何を？ this bookstore → 「書店を」

A science fiction writer owns this bookstore.

「ある S F 作家がこの書店を所有している」

## 53 We researched the difference between a supermarket and a convenience store.

文の分析 We researched the difference ( between a supermarket and a convenience store ).

check 前置詞のグループが名詞を飾る

前置詞のグループが直前の名詞を飾ることがある。books on the desk は on the desk が前の books を飾り、「机の上にある本」、a bird in the cage は in the cage が前の a bird を飾り、「カゴの中の鳥」となる。ここでは、between a supermarket and a convenience store が前の the difference を飾り、「スーパーとコンビニとの違い」となっている。

意味分析

We researched 「私たちは調査した」

何を？ the difference → 「違いを」

何と何との？ between a supermarket and a convenience store → 「スーパーとコンビニとの」

We researched the difference between a supermarket and a convenience store.

「私たちはスーパーとコンビニの違いを調査した」

## 54 The clever man improved the design of the dining room.

文の分析 The clever man improved the design of the dining room.  
A of B

check 前置詞 of

of は、A of B の形で使われることが多い。これは、「B の A」という意味となり、意味的に1つのグループになる。例文では、the dining room の the design → 「ダイニングルームのデザイン」という意味になっている。

意味分析

The clever man improved 「その頭の良い男性が改善した」

何を？ the design of the dining room → 「ダイニングルームのデザインを」

The clever man improved the design of the dining room.

「その頭の良い男性が、ダイニングルームのデザインを改善した」

## 55 I saw a wild koala on my tour of Australia.

文の分析 I saw a wild koala ( on my tour of Australia ).  
A of B

check 前置詞 of

of は、A of B の形で使われることが多い。これは、「B の A」という意味となり、意味的に1つのグループになる。ここでは、Australia の my tour → 「オーストラリアの私の旅行」と考える。

意味分析

I saw 「私は見た」

何を? a wild koala → 「野生のコアラを」

いつ? on my tour of Australia → 「オーストラリアの旅行中に」

I saw a wild koala on my tour of Australia.

「私はオーストラリアの旅行中に、野生のコアラを見た」

## 56 "Whose notebook is this?" "It's mine."

文の分析 " Whose notebook is this?" "It's mine."

check 疑問詞 whose

whose は「誰の?」という意味になり、次に名詞を伴う。名詞を尋ねるのではなく、誰の所有かを尋ねており、ここでは whose notebook 「誰のノート」を尋ねている。

check 所有代名詞 mine

mine は my notebook をさしている。It's my notebook とすると、notebook の繰り返しとなるので、mine とする。

意味分析

Whose notebook 「誰のノート」

なにが? is this → 「これは」

It's mine. → 「私のです」

"Whose notebook is this?" "It's mine."

「これは誰のノートですか?」 「私のです」

## 57 The architect has perfect knowledge of solar energy.

文の分析 The architect has perfect knowledge of solar energy.

A of B

check 前置詞 of

of は、A of B の形で使われることが多い。これは、「B の A」という意味となり、意味的に1つのグループになる。ここでは、solar energy の perfect knowledge → 「太陽エネルギーの完全な知識」と考える。

意味分析

The architect has 「その建築家は持っている」

なにを？ perfect knowledge of solar energy 「太陽エネルギーの完全な知識を」

he architect has perfect knowledge of solar energy.

「その建築家は、太陽エネルギーの完全な知識を持っている」

## 58 Is the branch office near the Olympic stadium?

文の分析 Is the branch office ( near the Olympic stadium )?

check 名詞のまとめ

名詞を飾る語が1語の時には、前→後ろで飾る。ここでは、branch が office を飾り、「支社」という意味になっている。

意味分析

the branch office = near the Olympic stadium ? 「支社=スタジアムの近くに」?

Is the branch office near the Olympic stadium?

「支社はオリンピックスタジアムのそばにあるのですか?」

## 59 My husband called the bank clerk yesterday.

文の分析 **My husband** called **the bank clerk** yesterday.

**check** 動詞 call

call には「～に電話をかける」「(大声で) ～を呼ぶ」という意味がある。ここでは、「電話をかける」と考えられる。

**意味分析**

My husband called 「夫は電話をかけた」  
誰に? the bank clerk → 「その銀行員に」  
いつ? yesterday → 「昨日」  
My husband called the bank clerk yesterday.  
「夫は昨日、その銀行員に電話をかけた」

## 60 The TV drama is a bridge between Japan and Korea.

文の分析 **The TV drama** is **a bridge ( between Japan and Korea )**.

**check** 前置詞のグループが名詞を飾る

前置詞のグループが直前の名詞を飾ることがある。books on the desk は on the desk が前の books を飾り、「机の上にある本」、a bird in the cage は in the cage が前の a bird を飾り、「カゴの中の鳥」となる。ここでは、between Japan and Korea が前の a bridge を飾り、「日本と韓国との橋 (架け橋)」となっている。

**意味分析**

The TV drama is ～ 「そのテレビドラマは～である」  
～とは? a bridge 「橋 (架け橋)」  
なんの? between Japan and Korea → 「日本と韓国との間の」  
The TV drama is a bridge between Japan and Korea.  
「そのテレビドラマは日本と韓国との掛け橋である」